

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

2月12日発行

Vol.683

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。



浪江町公式Facebook 「つながろう なみえ」から

住みたい田舎ベストランキングで 1位を獲得しました

「田舎暮らしの本」(宝島社・2025年2月号)で発表された「2025年版第13回住みたい田舎ベストランキング」の「人口5000人未満のまち」で、浪江町が総合部門1位を獲得しました。



14ページをご覧ください。

目次

●被災自治体News

南相馬市	2
浪江町	9
双葉町	15
福島県	22

●新潟県

・県外避難者の受入状況	23
-------------	----

●東京電力ホールディングス

・中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償の対応状況	24
---------------------------	----



南相馬市からのお知らせ

住民税非課税世帯・低所得子育て世帯支援給付金

1月30日HP更新

市は、国の物価高騰対策に基づき、令和6年度住民税非課税世帯に支援給付金を支給します。
また、対象世帯のうち、18歳以下の子どもがいる世帯は、子ども1人当たり2万円を上乗せして支給します。

対象者

次のすべてを満たす世帯

1. 令和6年12月13日時点において南相馬市に住民登録がある世帯
2. 世帯全員が令和6年度「住民税均等割が非課税」の世帯

また、以下に該当する世帯を除きます。

- ・ 世帯全員が住民税課税者である親族等に扶養されている世帯
- ・ 租税条約に基づき、課税を免除された者がいる世帯

給付額

■ 住民税非課税世帯支援給付金

一世帯当たり 3万6千円

■ 低所得子育て世帯支援給付金

平成18年4月2日以降に生まれた子ども 1人当たり 2万円

注意 出生届が令和6年12月14日以降の新生児は、追加で申請が必要です。

給付方法

● 「支給確認書」が届く方

過去の給付金事業によって、市が世帯主の振込口座を把握している場合は、「支給確認書」を2月上旬に送付します。

※ 次のいずれかに該当する場合は、2月17日(月)午後5時15分までに給付金コールセンターへご連絡ください。

- ・ 本給付金を受給しない
- ・ 振込口座を変更する
- ・ 子どもの人数などに誤りがある

ご連絡がない場合は、2月26日(水)に
給付金を振り込む予定です。

次ページへ続きます 

●「申請書」が届く方

市が世帯主の振込口座を把握していない場合は、申請書を2月上旬に送付します。

- 注意**
- ・住民税の申告をしていない方がいる世帯には申請書は届きません。税務課市民税係で住民税の申告のうえ、社会福祉課へ申請してください。
 - ・令和6年1月2日以降に転入した方がいる世帯には申請書は届きません。該当すると思われる方は、申請書をお送りしますので、社会福祉課までご連絡ください。

申請期限

7月31日(木)

申請場所

- 健康福祉部社会福祉課社会福祉係(南相馬市役所東庁舎1階②番窓口)
- 小高区市民総合サービス課(小高区役所1階)
- 鹿島区市民総合サービス課(鹿島区役所1階)

支給スケジュール

市が申請書を受理した日から2～3週間後を目安に口座へ振り込みます。
支給決定後に振込日を通知します。

- 注意** 書類に不備があった場合は、これよりも遅れる場合があります。

注意事項

- ・原則、世帯主の口座に振り込みとなります。
- ・配偶者などから暴力を理由に避難している方で、令和6年12月13日時点で現在住んでいる市区町村に住民票を移すことが出来ない場合、所定の手続きをすることで、給付金を受け取ることが出来る場合があります。詳しくは、お問い合わせください。
- ・本件を装った「特殊詐欺」や「個人情報」「通帳、キャッシュカード」「暗証番号」の詐取にご注意ください。市では、市民の方にATMの操作をお願いすることや支給のための手数料などの振り込みを求めることは絶対にありません。もし、不審な電話があった場合には市の窓口または警察署にご連絡ください。
- ・当該給付金は、差押禁止および非課税となります。

問い合わせ

給付金コールセンター **TEL 0244-22-2668** ※令和7年3月末まで

問い合わせ

健康福祉部 社会福祉課 社会福祉係

TEL 0244-24-5321

東日本大震災に係る災害対策本部員会議 開催資料

2月12日HP更新

市では東日本大震災に係る災害対策本部を設置し、発災から平成28年度末までに災害対策本部員会議を330回開催してきました。

現在も継続して災害対策本部が設置されており、平成31年から毎年2月に災害対策本部員会議を開催してまいります。

第343回南相馬市災害対策本部員会議(令和7年2月7日開催)

▶【次第・名簿】第343回南相馬市災害対策本部員会議[PDF]

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/9d749a40-0dc3-4f32-a8c4-12c390d85e95.pdf>



▶資料1 東日本大震災に係る被害状況及び復旧状況について[PDF]

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/c1b5ea14-76df-401b-9041-ef88bc84d6fb.pdf>



▶資料2 放射線モニタリングデータ等[PDF]

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/2a10d994-a58c-4ad5-87dc-8e4db6e8eebe.pdf>



▶資料3 南相馬市災害対策本部員会議説明資料(東京電力HD)[PDF]

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/f75c4731-6321-4852-b819-f1dc275748c3.pdf>

次ページへ続きます 

■「資料1 東日本大震災に係る被害状況及び復旧状況について」から

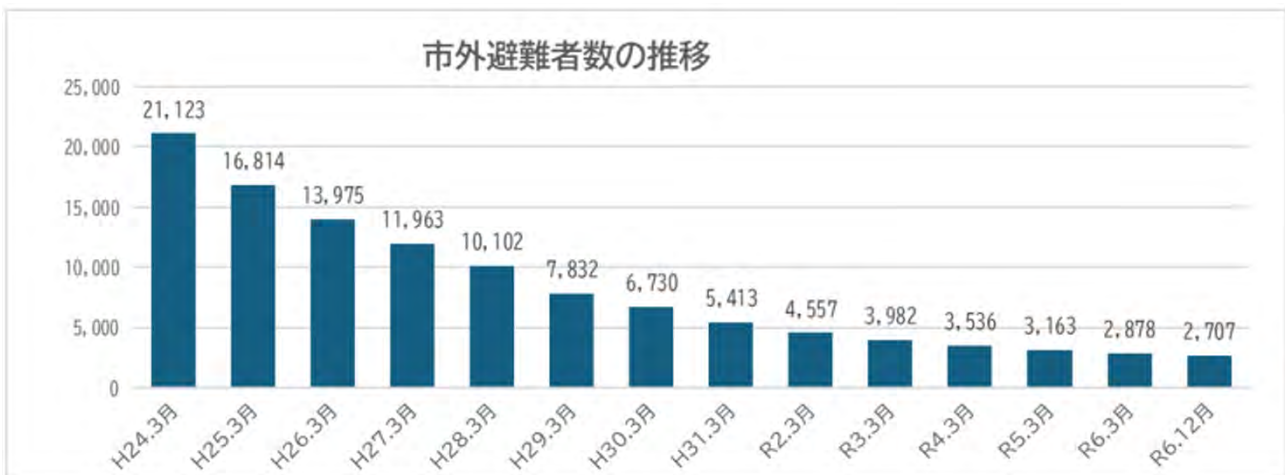
(被災者支援課 報告から)

都道府県別南相馬市避難者数(令和6年12月31日現在)

都道府県	人 数	都道府県	人 数	都道府県	人 数	都道府県	人 数	都道府県	人 数
北海道	16	埼玉県	171	岐阜県	6	鳥取県	-	佐賀県	-
青森県	11	千葉県	87	静岡県	9	島根県	1	長崎県	-
岩手県	1	東京都	139	愛知県	8	岡山県	-	熊本県	-
宮城県	456	神奈川県	74	三重県	1	広島県	-	大分県	4
秋田県	16	新潟県	121	滋賀県	8	山口県	-	宮崎県	-
山形県	108	富山県	2	京都府	2	徳島県	-	鹿児島県	-
福島県※	1,115	石川県	1	大阪府	5	香川県	-	沖縄県	2
茨城県	183	福井県	1	兵庫県	7	愛媛県	2	合計	2,707
栃木県	94	山梨県	7	奈良県	1	高知県	-		
群馬県	32	長野県	14	和歌山県	-	福岡県	2		

※福島県の避難者数は、市内避難者数を除く。

※避難者数には、震災後出生・転入者を含まない。



問い合わせ

復興企画部 危機管理課 消防災害対策係

TEL 0244-24-5232

避難指示区域別居住状況(令和7年1月31日現在)

2月7日HP更新

旧避難指示区域内の小高区および原町区の居住人口は、令和7年1月31日現在で4,314人となり、同区域内の住民登録人口(6,701人)に占める居住率は64.4パーセントになりました。

▶ 旧避難指示区域内の住民登録人口と居住人口の推移(令和7年1月31日現在)

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/53/kyojyujinnkousui_070131.pdf



▶ 避難指示区域別の世帯数と人口(令和7年1月31日現在)

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/53/kyojyujinnkou_070131.pdf



問い合わせ

復興企画部 被災者支援課

TEL 0244-24-5223



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

<http://www.minamisoma.tv/channel/>


今週の番組

番組内容 [2/7～2/14]

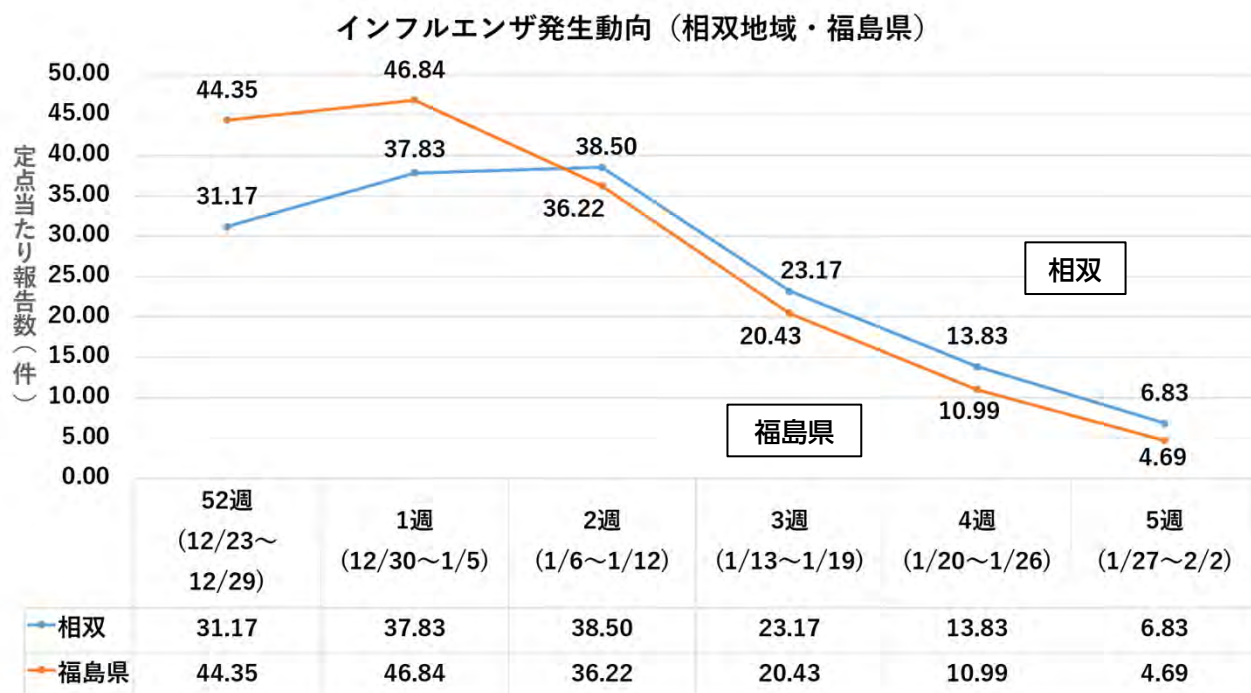
- 毎時 00分～ オープニング＆今週の番組
 01分～ 南相馬市長 2月 定例記者会見
 09分～ 第17回 南相馬市総合美術展覧会 ～一般の部～
 18分～ 小高放課後こども教室 防災ワークショップ
 30分～ 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 ～無料個別相談会のご案内～
 31分～ 南相馬市議会 令和6年第5回(12月)定例会 放送日程のお知らせ
 34分～ 南相馬市 いきいき80体操～お口の体操～
 42分～ 四季百景～南相馬 山紫水明の間から～
 48分～ 南相馬見聞録 平出山摩尼院宝蔵寺
 55分～ もうひとつの選択肢“ADR”
 59分～ 南相馬市役所 任期付職員募集



みゆーまぐん

インフルエンザ発生動向

2月6日HP更新



定点当たりの報告数については以下をご確認ください。

なお、相双保健所管内の市町村は、南相馬市、相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村の12市町村となります。

▶ 福島県感染症発生動向調査報告(福島県ホームページ)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/kansenshojoho.html>



インフルエンザ警報！！！！
基本的な感染対策をお願いします。

問い合わせ

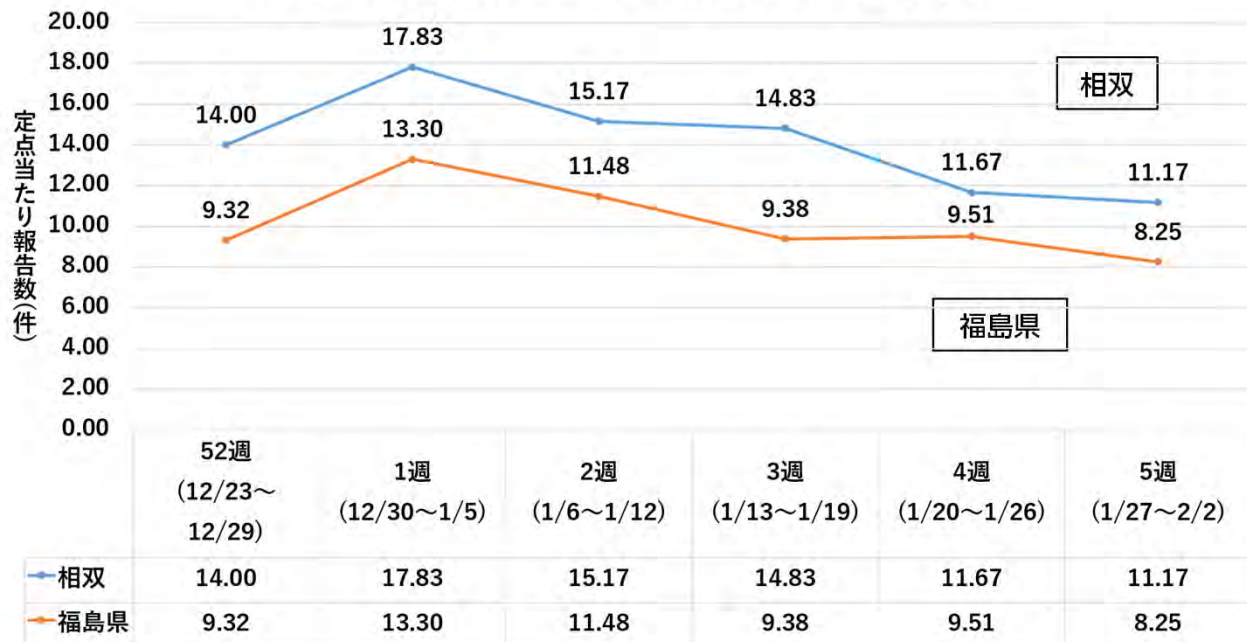
健康福祉部 健康づくり課 健康支援係

TEL 0244-23-3680

新型コロナウイルス感染症の発生動向について

2月6日HP更新

新型コロナウイルス感染症発生動向（相双地域・福島県）



定点当たりの報告数については、下記ホームページでご確認ください。

▶ 新型コロナウイルス感染症の発生動向について(福島県ホームページ)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045i/covid19-data.html#teiten>



なお、相双保健所管内の市町村は、南相馬市、相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村の12市町村となります。

感染対策のポイント

感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。

高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合は、重症化するおそれがあります。
感染対策として「マスクの着用を含めた咳エチケット」や「手洗い（手指消毒）」、「換気」等が効果的です。



咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気

問い合わせ

健康福祉部 健康づくり課 健康支援係

TEL 0244-23-3680



浪江町からのお知らせ

令和6年度 浪江町住民意向調査(復興庁・福島県・浪江町共催)の結果

2月5日HP更新

浪江町の住民を対象とした住民意向調査の結果(速報版)が復興庁から公表されましたので、お知らせします。

この調査は、原発事故による避難者等のご意見・ご意向をお伺いするものとして、浪江町、福島県および復興庁の共催で実施しています。

調査概要

- 調査対象：世帯の代表者(7,048世帯)
- 実施期間：令和6年11月5日～11月24日
- 調査方法：郵送およびWebによるアンケート方式
- 回答数：3,136世帯(回収率44.5%)

調査結果【速報版】

▶ 住民意向調査結果【速報版】[PDF]

<https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/22201.pdf>



調査結果のポイント

(1) 帰還の意向

既に浪江町で生活している	10.7% (11.2%)
戻りたいと考えている	12.4% (12.7%)
まだ判断がつかない	23.9% (23.3%)
戻らないと決めている	51.3% (51.5%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(令和5年11月)結果



次ページへ続きます

(2) まだ判断がつかない理由(上位抜粋)

医療環境に不安があるから	61.8% (62.8%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	44.1% (44.8%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	40.1% (41.2%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	37.9% (40.2%)
介護・福祉サービスに不安があるから	37.4% (39.1%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由(上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	56.5% (56.4%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	50.8% (54.2%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	43.7% (41.9%)
医療環境に不安があるから	40.8% (41.2%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	25.4% (26.8%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答

なお、上記資料は復興庁のホームページでも公表されています。

▶ 原子力被災自治体における住民意向調査(復興庁)

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/ikoucyousa/>



問い合わせ

企画財政課 企画調整係

TEL 0240-34-0240

福島県内バス無料デーについて

1月29日HP更新

バスの利用促進と地域経済活性化のため、福島県内の路線バスを対象とした「福島県内バス無料デー」が福島県と公益社団法人福島県バス協会との共催により実施されます。

実施内容については、22ページの「福島県からのお知らせ」をご覧ください。

実施日

- 第1回 2月27日(木)
- 第2回 3月 8日(土)

浪江町における対象路線

- 新常磐交通(株) 富岡ー浪江(浪江ーFh2R)
- 東北アクセス(株) 双葉ー浪江ー南相馬線

※ 新常磐交通(株) 富岡ー浪江は、土・日、祝日は運行しておりませんので、3月8日(土)は運休日となります。

※ スマートモビリティは対象外となります。

※ 各路線の運行ダイヤは以下を参照ください。

▶ 各路線の運行ダイヤ

<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/2/31979.html>



問い合わせ

企画財政課 企画調整係

TEL 0240-34-0240

浪江町の復興に向けた国等への要望・要求活動をしました

1月30日HP更新

要望活動実施日

1月17日(金)

要望活動先

- 復興庁
- 自由民主党 東日本大震災復興加速化本部
- 福島県選出国會議員



伊藤復興大臣へ要望書を提出

要望の趣旨

東日本大震災及び東京株式会社福島第一原子力発電所発災から、今年で14年となります。この間、我々浪江町議会は関係機関のご支援のもと、復旧・復興と町民の生活再建のため全力を挙げて取り組んできました。

当町では、これまでの復旧・復興事業の総点検を行い、令和3年度から10年間における復興の方向性を定める浪江町復興計画【第三次】を策定し、令和7年度末には5年が経過することから、中間見直しを実施し、浪江町復興計画【第三次】後期基本計画に改定する予定です。

町としては、持続可能なまちづくりを目指し、駅前周辺整備事業や産業団地を整備し積極的な企業誘致を進めるなど町民の生活環境整備、生業の再生等の取り組みを進め町内に居住する方々が安心して豊かな生活を送ることができ、さらに避難中の方も帰還したい、町外の方が住んでみたいと思える魅力あふれるまちづくりの実現に向けた取り組みを進めております。

令和5年3月31日に避難指示が解除された特定復興再生拠点区域においては営農再開や津島地区でリンゴの実証栽培が始まるなど、少しずつではありますが復興に向けた動きが見えてきておりますが、当町には未だ帰還困難区域が多く残っており、そこで生活を営んできた多くの住民が故郷への帰還も出来ぬまま、県内外に避難しており、自由な立ち入りもできない状況です。

令和5年6月には「改正福島再生特別措置法」が施行され、住民の帰還意向確認の結果を踏まえた「特定帰還居住区域復興再生計画」を策定し、昨年1月に国より認定を受けましたが、町の再生には、町全域の避難指示解除が必要であり、まだまだ、長く険しい道のりが続くことが予想されます。加えて、中心市街地の再生、移住・定住の促進、なりわいの再生、産業や雇用の創出

次ページへ続きます 

など様々な課題がありますので、浪江町の復興・創生が成し遂げられるまで、国の責務として対応いただき、さらには、昨年8月29日に自由民主党東日本大震災復興加速化本部より「東日本大震災復興加速化のための第13次提言」に申し入れした、すべての項目を必ず遂行していただけるよう要望するものです。

要望事項

1. 帰還困難区域の再生
2. 人材支援について
3. 農林水産業再生に向けた支援
 - (1) 農業について
 - (2) 耕畜連携について
 - (3) 森林管理、林業について
 - (4) 水産業について
4. 中心市街地再生等の環境整備
5. 医療・介護・福祉の充実に向けた支援
6. 教育環境の充実に向けた支援
7. 福島イノベーション・コースト構想の着実な実現
8. 脱炭素社会の実現に向けた支援
9. 福島国際研究教育機構(略称:F-REI)に関する財源確保等
- 10.復興の実現と財源確保
- 11.R常磐線の機能強化と高速化
- 12.高速道路無料化措置の延長

要望事項の詳しい内容については、

▶ 浪江町の復興・創生に向けた要望書[PDF]

<https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/22178.pdf>



問い合わせ

議会事務局

TEL 0240-34-0254

浪江町が住みたい田舎ベストランキングで1位を獲得しました

「田舎暮らしの本」(宝島社・2025年2月号)で発表された「2025年版第13回住みたい田舎ベストランキング」の「人口5000人未満のまち」で、浪江町が総合部門1位を獲得しました。

昨年度も「人口1万人未満の町部門」で全国1位を受賞しており、2年連続の受賞となります。

浪江町の魅力について、「田舎暮らしの本2月号」では、

- 気候温暖で暮らしやすい。請戸漁港の海の幸が豊富で、若者からシニアまで人気が高い
- 駅前周辺の再開発事業、福島国際研究教育機構(F-REI)の立地など、新しいまちづくりに挑戦している

などが挙げられています。



津島稻荷神社に来てみました

— 去年の避難指示の解除により、いつでも参拝できるようになりました。





双葉町からのお知らせ

町民の皆さまへ(町長メッセージ)

2月1日HP更新

令和7年の新しい年を迎えてから早いもので1カ月が経ちました。暦の上では春を迎える時期とはいえ、寒い毎が続きます。

元旦の朝、産業交流センターの屋上より、水平線から昇ってくる初日の出を拝み、双葉町の復興と町民の皆さまの無病息災を祈願しました。

1月5日、双葉町産業交流センターにおいて賀詞交換会を開催し、福島県選出の国会議員をはじめ、各界から約100人の方々にご臨席いただきました。日ごろお寄せいただいている支援と協力に感謝申し上げ、多くの皆さまと懇談させていただきました。

1月6日の仕事始めの式では、町のさらなる復興と町民の皆さまのご健康とご多幸を祈願し、双葉ダルマに目入れを行うとともに、職員に対し、「令和7年は、復興の具現化をさらに進める1年。役場庁舎北側にイオン東北(株)のスーパーマーケット、旧体育館跡地に商業施設3店舗、さらに大和ライフネクスト(株)のホテルが整備され、双葉町にとって大きな1歩となる。確実に復興を進めていくという強い気持ちを持って取り組んでいただきたい」と令和7年のスタートにあたって訓示を行いました。

また同日、東京電力ホールディングス(株)小早川智明代表執行役社長が双葉町役場を訪問した際に(1)安全かつ着実な廃炉の実施と安全対策の徹底 (2)町民の被害実態に即した賠償の実施 (3)町の復旧・復興に向けた取組への協力等について要求書を手渡しました。

1月11日は双葉町役場庁舎においてはたちを祝う会を開催し、12人の方々に出席いただきました。今回二十歳を迎えられた皆さんは、小学校入学直前に被災され、十分な準備もできないままに避難先の小学校で入学式を迎えられました。大変なご苦勞を乗り越えられて、健やかに成長されたお姿を拝見することができ、心強く感じたところです。

1月11日、12日の両日には新春恒例の双葉町ダルマ市が、JR双葉駅前広場において盛大に開催されました。初發神社での奉納神楽大会をはじめ、巨大ダルマ引き、ダルマ神輿、町芸術文化団体連絡協議会による芸能発表会等さまざまな催しが行われました。また、友好町である京丹波町の小畑万歳保存会の皆さんに「小畑万歳」を披露

次ページへ続きます 

いただき、ステージに華を添えていただきました。双葉町産業交流センターにおいて開催された町総合美術展・町民作品展覧会では、多数の作品が出展され、両会場とも大勢の来場者でにぎわいました。

新春恒例の行事が終わり一息ついたところですが、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザをはじめとした感染症が流行しています。感染症予防対策を十分にされますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

双葉町民の避難状況(令和7年1月31日現在)

【都道府県別】(福島県外)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	10	福井県	2	広島県	4
青森県	16	山梨県	14	山口県	3
岩手県	9	長野県	12	徳島県	-
宮城県	249	岐阜県	7	香川県	-
秋田県	12	静岡県	28	愛媛県	5
山形県	13	愛知県	11	高知県	-
茨城県	426	三重県	1	福岡県	9
栃木県	147	滋賀県	1	佐賀県	3
群馬県	41	京都府	10	長崎県	5
埼玉県	731	大阪府	8	熊本県	1
千葉県	153	兵庫県	4	大分県	4
東京都	372	奈良県	1	宮崎県	4
神奈川県	166	和歌山県	-	鹿児島県	12
新潟県	112	鳥取県	1	沖縄県	4
富山県	8	島根県	12	国外	5
石川県	12	岡山県	3	合計	2,651

(前月 2,659)

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	224	鏡石町	15	檜葉町	19
会津若松市	35	天栄村	3	富岡町	16
郡山市	565	下郷町	2	川内村	3
いわき市	1,988	只見町	2	大熊町	13
白河市	164	猪苗代町	4	双葉町	73
須賀川市	59	会津坂下町	11	浪江町	10
喜多方市	6	会津美里町	2	新地町	6
相馬市	51	西郷村	28	県内	1
二本松市	21	泉崎村	8	合計	3,769
田村市	14	中島村	2		
南相馬市	256	矢吹町	25		
伊達市	13	棚倉町	11		
本宮市	36	塙町	7		
桑折町	4	平田村	4		
川俣町	1	三春町	26		
大玉村	11	広野町	30		

(前月 3,771)

避難者総数

6,420

(前月 6,430)

駅西住宅入居者募集のお知らせ(先着順受付 4月入居)

2月6日HP更新

双葉町駅西側地区の災害公営住宅と再生賃貸住宅を合せて「駅西住宅」と呼びます。

次の災害公営住宅の募集を先着順で行います。

入居を希望される方は、入居者募集のお知らせを必ず確認のうえで、申込書を提出してください。住宅配置図や家賃の目安も記載されています。

<注意点>

1. 先着順のため、総務課で書類を受理した時点で申し込みがあったとみなします。「どちらでもよい」などの申し込みは受理できませんので、住戸番号は必ず明記してください。同日に同一物件への申し込みがあった場合は抽選を行いますのでご了承ください。
2. 申し込みから2カ月後(4月中)に入居できる方に限ります。
3. 2月末時点で申し込みのなかった災害公営住宅があった場合は、引き続き後日にホームページ上で先着順募集を行います。

募集住宅

●南エリア

住戸名	住戸区分	募集戸数	住戸番号	ペット飼養
災害公営住宅	タウンハウス1DK	2	E-3、E-4	不可

▶ 駅西住宅入居者募集のお知らせ [PDF]

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/16671/r701bosyuuyoukou.pdf>



申込資格(概要)

1. 震災時(平成23年3月11日)双葉町に住民票を有していたこと
2. 住宅に困っていること
3. 市町村民税等に滞納がないこと
4. 過去に町営住宅に入居していた場合、家賃の滞納がないこと
5. 暴力団員でないこと

次ページへ続きます 

申し込み方法

「**駅西住宅申込書**」に必要事項を記入し、郵送、持参、メールのいずれかで総務課まで提出してください。

▶ 駅西住宅申込書 [Word]

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/16671/r701moushikomisyo.docx>



▶ 駅西住宅申込書 (記入例) [PDF]

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/16671/r702kinyuurei.docx>



●「駅西住宅申込書」の提出先

- ①郵送の場合…………… 〒979-1495 双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
双葉町役場 総務課 宛
- ②メールの場合…………… soumu@town.futaba.fukushima.jp
- ③持参…………… 双葉町役場 総務課窓口 (受付時間 午前8時30分～午後5時15分)

※ 郵送の場合は、期限日までに必着

※ メールおよび持参の場合は、期限日の午後5時15分まで

申込期限

2月28日(金)

※ 2月末で一度締め切りますが、全て埋まらなかった場合、災害公営住宅の募集を継続して行う予定です。

次ページへ続きます 

申し込みから入居までのスケジュール

申し込み



申込書受理

資格審査

審査に必要な書類のご案内をしますので、提出してください。



審査期間 約2週間

(審査に合格した場合)



入居予定者決定通知

入居予定者決定通知ほか発送

- 入居手続と住まい方等に関する説明資料をお送りしますので、内容をご確認のうえ、必要書類を期日までに提出してください。
- 敷金として、月額家賃の3カ月分を納入してください。
- 連帯保証人を1人確保してください。
- 内覧希望者は入居予定者決定後から、入居予定の住戸内を見学できます。
(平日午前8時30分～午後5時、土日祝日不可)



約2週間後

入居説明会

- 入居説明会では、入居に関する重要事項を説明しますので、必ず参加してください。
- 説明会後に入居許可書と鍵をお渡しします。説明会を受けずに鍵をお渡しすることはできません。

入居

使用許可日から20日以内に入居してください。

※ 双葉町(駅西住宅)に住民票を異動していただきます。

問い合わせ

総務課

TEL 0240-33-0124

東日本大震災双葉町追悼献花場設置のお知らせ

2月3日HP更新

東日本大震災により亡くなられた方々への哀悼の気持ちをささげていただけるよう、以下のとおり追悼献花場を設置いたします。

日時

3月11日(火)

午前9時から午後4時まで

※ 午前9時に開場いたします。

会場

双葉町産業交流センター 大会議室
(双葉町大字中野字高田1番地1)

内容

ご遺族の方々をはじめ、多くの方々による会場内に設置した祭壇への自由献花

その他

- 当日午後2時46分に、会場内にて黙とうをささげます。
- 供花、供物、香典等は辞退申し上げます。
- 会場内ではインフルエンザ等感染症拡大予防のための対策に取り組みますので、来場される皆さまにおかれましても、感染症対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ

住民生活課

TEL 0240-33-0126



昨年の様子

マイナンバーカードの健康保険証利用登録の解除申請について

1月29日HP更新

国民健康保険加入者におけるマイナ保険証の利用登録解除について

双葉町国民健康保険加入者であって、マイナ保険証の利用登録をされている方で、登録解除を希望される方は、申請することで利用登録を解除することができます。

▶ マイナンバーカードの健康保険証利用登録の解除申請書 [PDF]

https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/16662/mynumberhokensyo_kaijyoshinsei.pdf



留意事項

- 解除申請後、解除されるまでに、1～2カ月程度を必要とします。
- 解除されるまでの間に、他の健康保険に加入した場合は、新たに加入した医療保険者に対して解除申請を行った旨を申し出るとともに、資格確認書の申請を行うようにしてください。

問い合わせ

健康福祉課

TEL 0240-33-0131



福島県からのお知らせ

福島県内バス無料デーを開催します

1月22日HP更新

人口減少等による利用者の減少に加え、燃料価格・物価高騰により厳しい経営状況が続くバスの利用を促進するとともに、物価高騰により外出を控えていた県民のまちなかなどへの周遊を促すため、県内の路線バスを対象として、実証的に運賃無料運行を実施します。

実施日(2日間)

【第1回】 令和7年2月27日(木)

【第2回】 令和7年3月 8日(土)

運賃無料化対象路線

以下の運賃無料対象事業者が運行する路線バス(460系統)

▶ 路線一覧[PDF]

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/667224.pdf>



- | | |
|--------------|-----------------|
| ・福島交通株式会社 | ・ジェイアールバス東北株式会社 |
| ・会津乗合自動車株式会社 | ・ジェイアールバス関東株式会社 |
| ・新常磐交通株式会社 | ・東北アクセス株式会社 |

※ 高速バス、観光バス、コミュニティバスを除く。

なお、コミュニティバスとは、交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、市町村などが主体的に計画し、以下の方法により運行するものをいう。

- (1) 市町村自らが自家用有償旅客運送者の登録を受けて行う市町村運営有償運行するもの
- (2) デマンド運行するもの(事業者が主体となり運行するものを除く)
- (3) 乗車定員11人未満の車両を用いるもの

福島県内バス無料デー当日のバスの乗り方

- 当日は、どなたでもご利用いただけます。
- 当日は、何度でもご利用いただけます。

次ページへ続きます

【乗るとき】

整理券を受け取り、ICカードやクレジットカードはタッチせず、そのまま乗車してください。

【降りるとき】

ICカードやクレジットカードはタッチせず、整理券のみ運賃箱に投入してください。

- ※ バス車内の混雑状況により、希望のバスに乗車できないことがあります。
時間に余裕を持ってご利用願います。
- ※ 整理券のないバスは、そのまま乗車してください。
- ※ 誤って、ICカードやクレジットカードをタッチした場合、または現金を投入した場合、返金はできません。

アンケート調査に御協力をお願いします

バス無料デーを利用された方を対象に、アンケート調査(Web)の実施を予定しています。

問い合わせ

生活環境部 生活交通課

TEL 024-521-7177



県外避難者の受入状況

市町村把握分

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
新潟市	715	燕市	49	聖籠町	-
長岡市	163	糸魚川市	3	弥彦村	7
三条市	53	妙高市	5	田上町	-
柏崎市	416	五泉市	16	阿賀町	-
新発田市	134	上越市	22	出雲崎町	-
小千谷市	7	阿賀野市	29	湯沢町	7
加茂市	9	佐渡市	21	津南町	-
十日町市	11	魚沼市	2	刈羽村	21
見附市	14	南魚沼市	-	関川村	-
村上市	30	胎内市	26	粟島浦村	-
合 計		1,760			

(前月 1,766)

令和7年1月31日現在

区 分	人数
1 公営住宅・雇用促進住宅等	4
2 借上げ仮設住宅	21
3 賃貸住宅・持家・親戚知人宅等	1,735
1+2+3 (市町村把握分)	1,760
4 病院	0
5 社会福祉施設	3
合 計	1,763

(前月 1,769)

問い合わせ

防災局 防災企画課 防災事業係

TEL 025-282-1606

中間指針第五次追補等を踏まえた 追加賠償の対応状況

2月5日

東京電力ホールディングス株式会社
福島原子力補償相談室

<追加賠償の対象者:約148万人>

①追加賠償のご請求書発送・ウェブ請求受付状況 2月3日現在
()内は2024年12月3日現在

	累計	
ご請求書発送・ウェブ請求受付	約140万人 ※1	(約140万人)
(内訳) ご請求書発送受付	約120万人	(約120万人)
ウェブ請求受付	約20万人	(約20万人)

※1: 四捨五入により内訳の合計と一致しない場合があります。

②追加賠償のご請求・お支払い実績 2月3日現在 ()内は2024年12月3日現在

	累計	
ご請求受付人数	約134万人	(約133万人) ※2
お支払い完了人数※3	約133万人	(約132万人)

※2: ウェブ請求の方を含む。

※3: お支払い予定の方を含む。

避難先住所等の届け出について

東日本大震災に伴い避難されている方で、次のような場合は、全国避難者情報システム(避難者名簿)に登録されている内容を変更する必要がありますので、ご連絡ください。

- ・転居したので住所が変わった(変わる予定である)
- ・家族構成が変わった
(子が進学などで転出、帰還した家族がいる など)
- ・避難生活が終了した(避難の意思を有しなくなった)

連絡先

三条市 福祉課 福祉・公営住宅係

TEL 0256-34-5405

三条市に避難している 世帯数と人数(2025.2.12現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	13	32
原町区	3	3
南相馬市 計	16	35
浪江町	3	10
双葉町	1	1
郡山市	3	7
合 計	23	53

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511